

第51回 島尻地区中学校新人柔道競技大会要項

1 主 催 島尻地区中学校体育連盟

2 共 催 沖縄県教育委員会、沖縄県中学校体育連盟、島尻市町村教育長会

3 後 援 島尻地区PTA連合会

4 期 日 令和8年1月10日(土)

5 日 程 【男女団体戦・男女個人戦】

開場・会場準備 8:30(早まる可能性あり) ※専門部は8:00に入場し準備する。

体重計量 9:00~9:30 ※団体・個人の計量を行う。

監督会議 9:30~9:40 審判会議 9:40~9:50

※ 那覇地区と合同開催する。

開始式 9:50~ 男女団体 10:00~

男女個人、男女各階級決勝 試合の進行、参加数を見て調整

5 会 場 県立武道館3F 第三練成道場

6 申込メ切 令和7年12月12日(金)16:00 Word データで提出。 ※原本(公印あり)を、抽選会にて提出。

提出先アドレス :okichyujudo2025@gmail.com

7 組合せ抽選 令和7年12月16日(火)16:00(南風原中学校 1階 多目的室)

※ 個人戦は専門部抽選とする。

8 申 込 先 柔道専門部長 宮城 匡(南風原中学校) (抽選会にて申込用紙を提出)

9 企画運営 ◎宮城 匡(南風原中学校)、仲村 圭達(伊良波中学校)、大福宜行(西崎中学校)、那覇地区専門部

10 参加資格 (1) 当該中学校の校長及び地域クラブ活動の責任者が許可したチーム及び個人とする。

(2) 選手の監督及び引率は当該校の教員及び地域クラブ活動の責任者とする。

(3) 令和7年度期間内において、全日本柔道連盟に「団体登録」、「競技者登録」を済ませていること。

(4) 柔道修業期間を6カ月以上経過していること。

(5) 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格の詳細については、県・地区中体連HPに掲載されている開催基準「特別規定」による。地区中体連より参加が認められているクラブは参加できる。

11 競技形式 団体戦・個人戦とも参加校・参加人数によって専門部で決定する。

12 参加制限 (1) 男子団体戦

① 1校2チームまで編成できる。[選手は5名、補員2名、監督1名]

② 編成は、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に組む。選手が5名に満たない場合にも大将から順次体重順に組み、4人の場合には先鋒を空け、3人の場合には先鋒と次鋒を空け、間に欠員を置いてはならない。

③ 補員の充当により一度退いた選手の再出場は認めない。

(2) 女子団体戦

① 1校2チームまで編成できる。[選手は3名、補員1名、監督1名]

- ② 編成は、男子と同様にする。選手が2名の場合は先鋒を空ける。
- ③ 補員の充当は男子と同様とする。

(3) 個人戦の体重区分は次のとおりとする。

男子	-50kg級	-55kg級	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	+90kg級
女子	-40kg級	-44kg級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	-70kg級	+70kg級

13 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025年4月1日施行の新ルール)および国内における「少年大会特別規定」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間は、団体・個人、男女ともに3分間とする。団体の代表戦および個人戦の延長戦(ゴールデンスコア)は時間無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、団体戦、個人戦において「一本」、「技有」、「有効」または「僅差(指導の差2以上)」とする。「技有」2つで「一本」とする。
- (4) 抑え込み時間は、5秒で「有効」、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。
- (5) 優劣の成り立ちは以下の通りとする。
 - ① 【団体戦】「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差(指導の差が2以上)」
 - ② 【個人戦】「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差(指導の差が2以上)」
 - ③ 【延長戦(ゴールデンスコア)(団体戦の代表戦及び個人戦ベスト8以上)】
 - 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、もしくは「指導」差1以内の場合、その試合はGSによる延長戦を行う。
 - 延長戦(ゴールデンスコア)においては、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。
- (6) 団体戦の代表戦は、試合を行った者の中から監督による任意の選出選手とする。
- (7) 延長戦(GS)は、団体戦の代表戦、個人戦の準々決勝(ベスト8)からでのみ実施する。個人戦のその他の試合では実施せず、僅差判定で勝敗を決する。
- (8) 団体戦での勝敗の判定は勝ち点の合計が多いチームを勝ちとする。
- (9) 団体戦で勝敗の合計が同数の場合、内容で決める。内容は、(5)の①に準ずる。
- (10) 団体戦で内容が同等の場合は、代表戦を1回だけ行う。
- (11) 団体戦は3位決定戦を行う。
- (12) 個人戦は3位決定戦を行わない。

14 表彰 団体戦・個人戦とも1位～3位までを表彰する。

- ### 15 その他
- (1) 柔道衣には必ずゼッケン(学校名・姓名入り、男子は黒字・女子は赤字)を縫い付けて出場すること。
 - (2) 大会運営は第51回島尻地区中学校新人総合体育大会(総則)に準ずる。
 - (3) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医[脳神経外科]の検査を受けること)
 - (4) 中学生の試合においては、絞技を禁止とし、施した場合には「指導」を与える。故意ではなかったが、絞技が極まった場合は、「待て」とする。
 - (5) 島尻地区中体連主催(共催)大会等開催時ガイドライン及び専門部ガイドラインを遵守し大会を実施する。